

分析結果成績書

第 103062764-001 号

2003 年 (平成 15 年) 07 月 04 日

依頼者：株式会社 民益

検体名：長期耐候型 水溶性撥水剤

2003 年 (平成 15 年) 06 月 18 日 財団法人に本食品分析センターに提出した上記検体についての分析試験結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	結果	検出限界	注	方法
PCB	検出せず	0.1 ppm		ガスクロマトグラフ法
溶出試験			1	
着色料 (溶媒：20V/V%エタノール)	溶出せず		2	
着色料 (溶媒：4V/V%酢酸)	溶出せず		2	
着色料 (溶媒：ローヘプタン)	溶出せず		3	
着色料 (溶媒：水)	溶出せず		2	
フェノール類 (フェノールとして) (溶媒：水)	溶出検出	0.5 µg/ml	2	4-アミノアンチピリン 吸光光度法
ホルムアルデヒド (溶媒：水)	溶出検出	0.5 µg/ml	2	アセチルアセトン 吸光光度法
カドミウム (溶媒：4V/V%酢酸)	溶出検出	0.005 µg/ml	2	原子吸光光度法
鉛 (溶媒：4V/V%酢酸)	溶出検出	0.05 µg/ml	2	原子吸光光度法
ヒ素 (As ₂ O ₃ として) (溶媒：4V/V%酢酸)	溶出検出	0.05 µg/ml	2	DDTC-Ag吸光光度法
蛍光物質	溶出せず		4	

注 1. 検体をガラス板に約 0.1mm の厚さに塗布し、常温で 3 日間放置したものについて試験した。

注 2. 塗布面 1cm² 当りに 2ml の溶媒を用い、60 で 30 分間溶出後、得られた溶出液をメンブランフィルター (0.5 µm) でろ過したのち試験した。

注 3. 溶出条件：塗布面 1cm² 当たり 2ml の溶媒を用い、25 で 1 時間溶出

注 4. 蛍光物質を使用した器具または容器包装の検査法について (昭和 46 年環食第 244 号) に準じて試験した。ただし、検体をガラス板に約 0.1mm の厚さに塗布し、常温で 3 日間放置したものについて試験した。

以 上